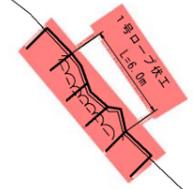
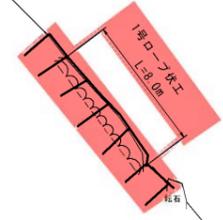


D=12.000

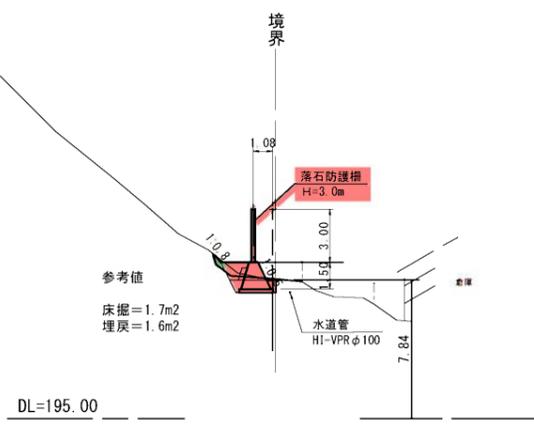
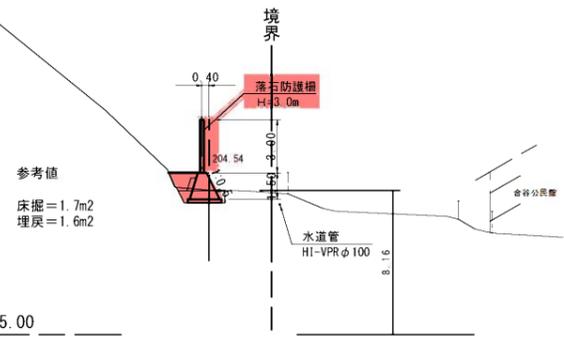


NO. 0
GH=203.18
FH=204.16



NO. 1
GH=202.86
FH=203.84

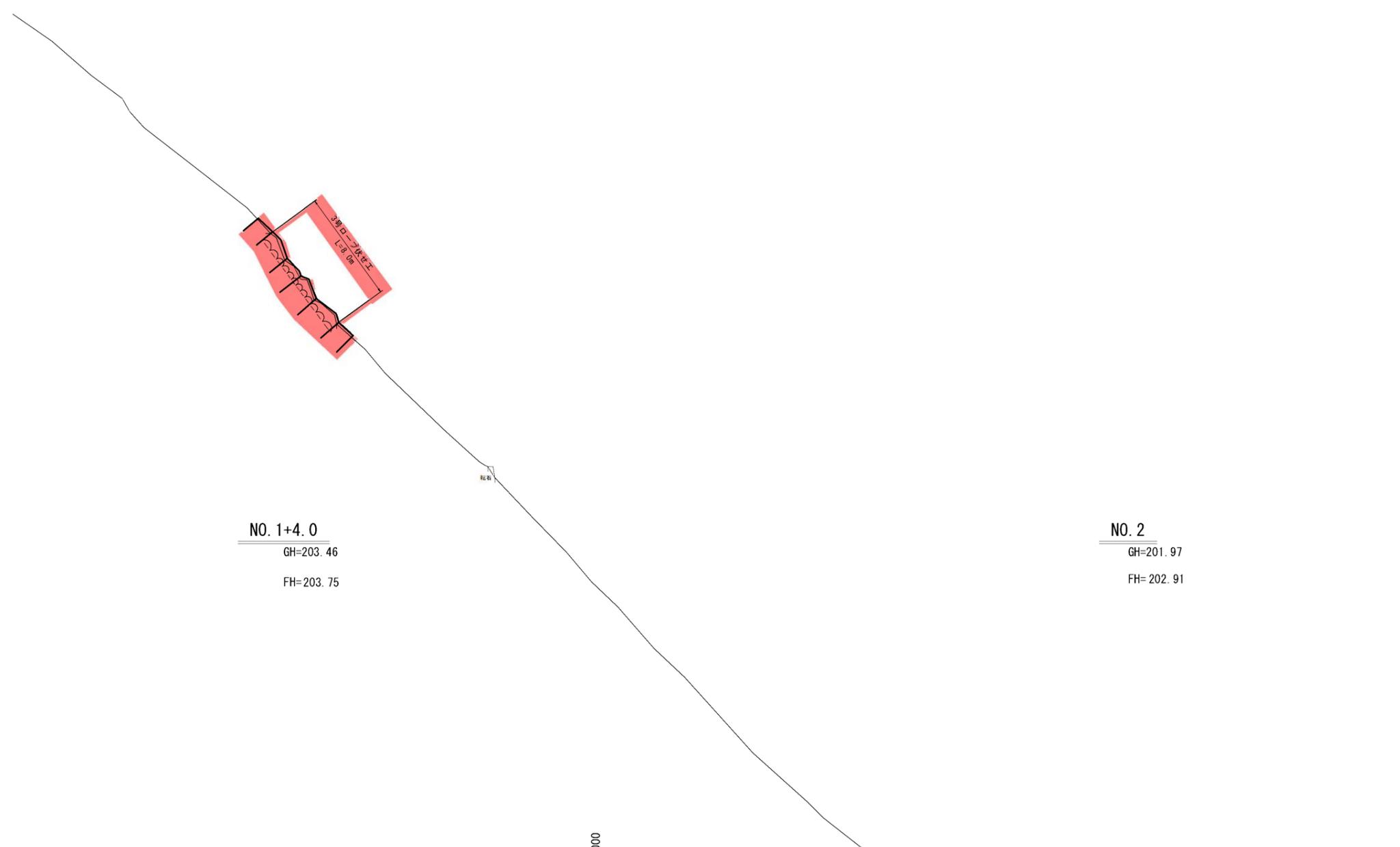
D=3.900



※注意事項
水道管 (HI-VPR φ100) が埋設されているが、
詳細な埋設位置、埋設深さについては不明である。
従って、埋設位置、埋設深さは推定によるものであり、
床掘については細心の注意が必要である。

起工		合谷地区	
年度	令和7年度 (国補正)		
名称	縦断面図 (1/4)		
施工地	東伯郡三朝町三徳		
事業名	三徳地区復旧治山事業 (5工区) (国補正)		
事業所	鳥取県 中部総合事務所		
図面番号	2	縮尺	1:200

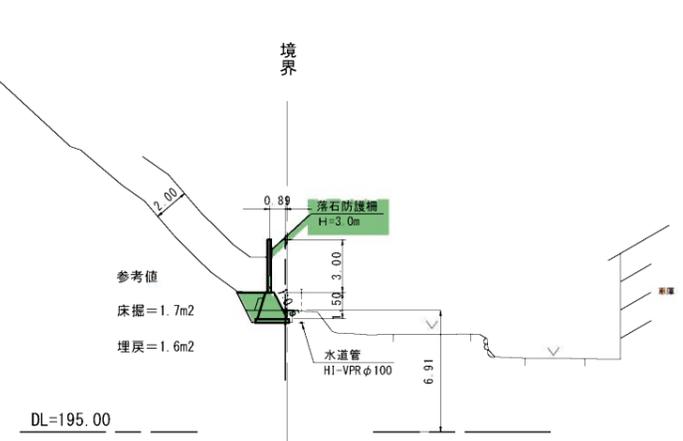
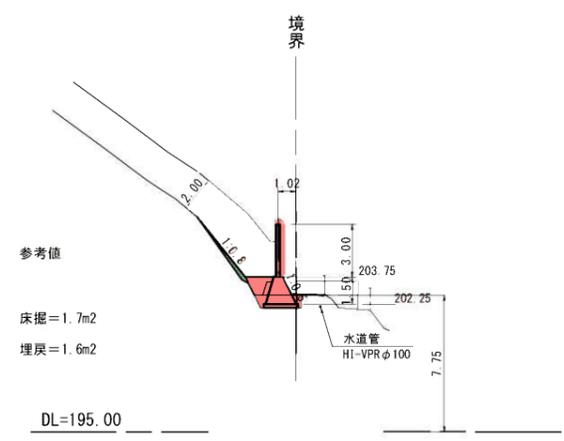
※縮尺はA1サイズ印刷時のもの



NO. 1+4.0
 GH=203.46
 FH=203.75

NO. 2
 GH=201.97
 FH=202.91

D=10.000

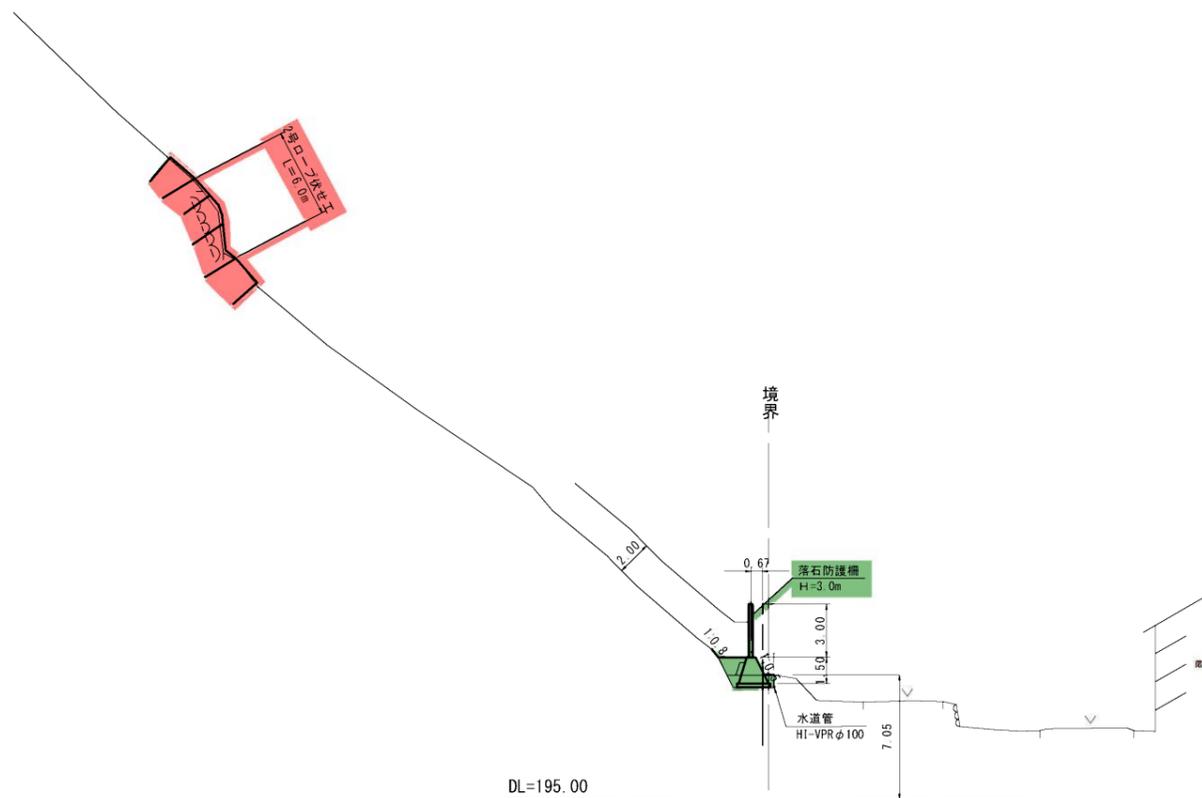


※注意事項
 水道管 (HI-VPR φ100) が埋設されているが、
 詳細な埋設位置、埋設深さについては不明である。
 従って、埋設位置、埋設深さは推定によるものであり、
 床掘については細心の注意が必要である。

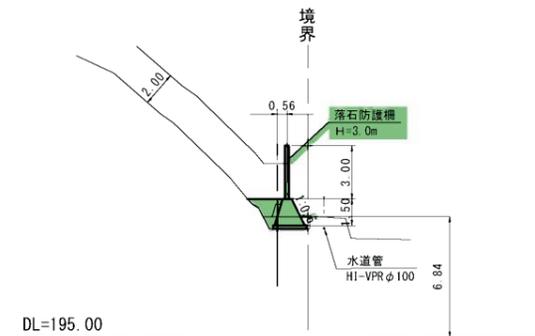
起工		合谷地区	
年度	令和7年度 (国補正)		
名称	縦断面図 (2/4)		
施工地	東伯郡三朝町三徳		
事業名	三徳地区復旧治山事業 (5工区) (国補正)		
事業所	鳥取県 中部総合事務所		
図面番号	3	縮尺	1:200

※縮尺はA1サイズ印刷時のもの

D=7.000



NO. 4
GH=201.91
FH=202.84



※注意事項
 水道管 (HI-VPR φ100) が埋設されているが、
 詳細な埋設位置、埋設深さについては不明である。
 従って、埋設位置、埋設深さは推定によるものであり、
 床掘については細心の注意が必要である。

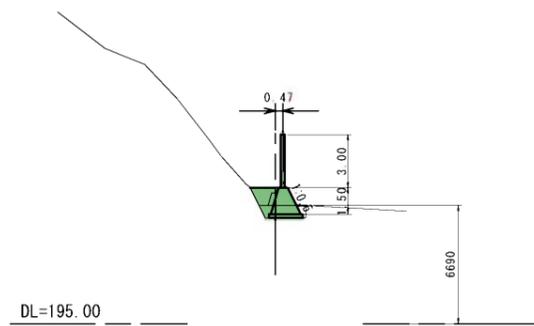
起工		合谷地区	
年度	令和7年度 (国補正)		
名称	縦断面図 (3/4)		
施工地	東伯郡三朝町三徳		
事業名	三徳地区復旧治山事業 (5工区) (国補正)		
事業所	鳥取県 中部総合事務所		
図面番号	4	縮尺	1:200

※縮尺はA1サイズ印刷時のもの

13.800
D=12.000

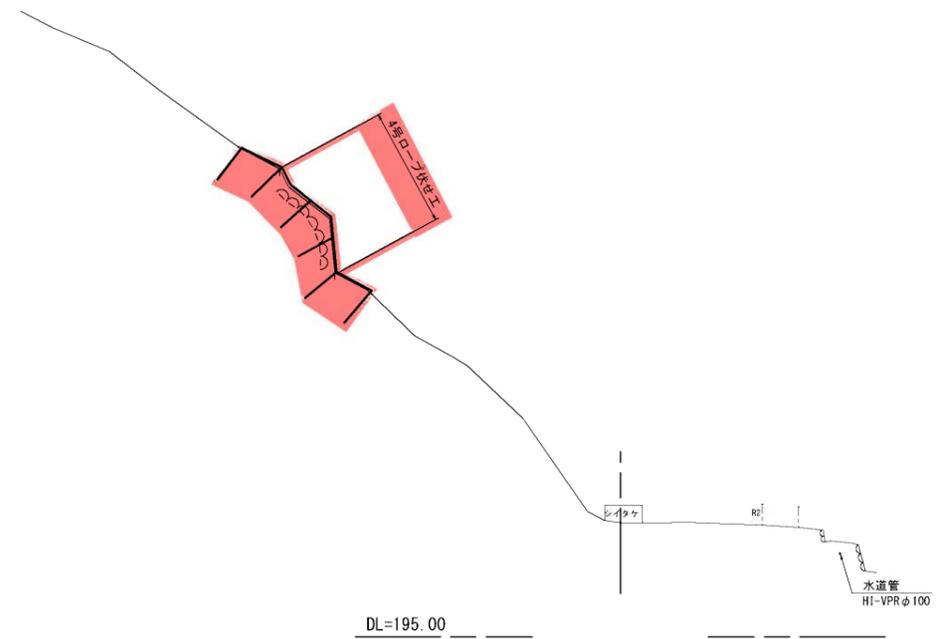
NO. 5

GH=201.77
FH=202.70



NO. 6

GH=201.45
FH=



注意事項
※三朝町建設水道課に聞き取りを行った結果、水道管 (HI-VPRφ100) が埋設されているが、詳細な埋設位置、埋設深さについては不明であるとの回答であった。
従って、埋設位置、埋設深さは推定によるものであり、床掘については細心の注意が必要である。

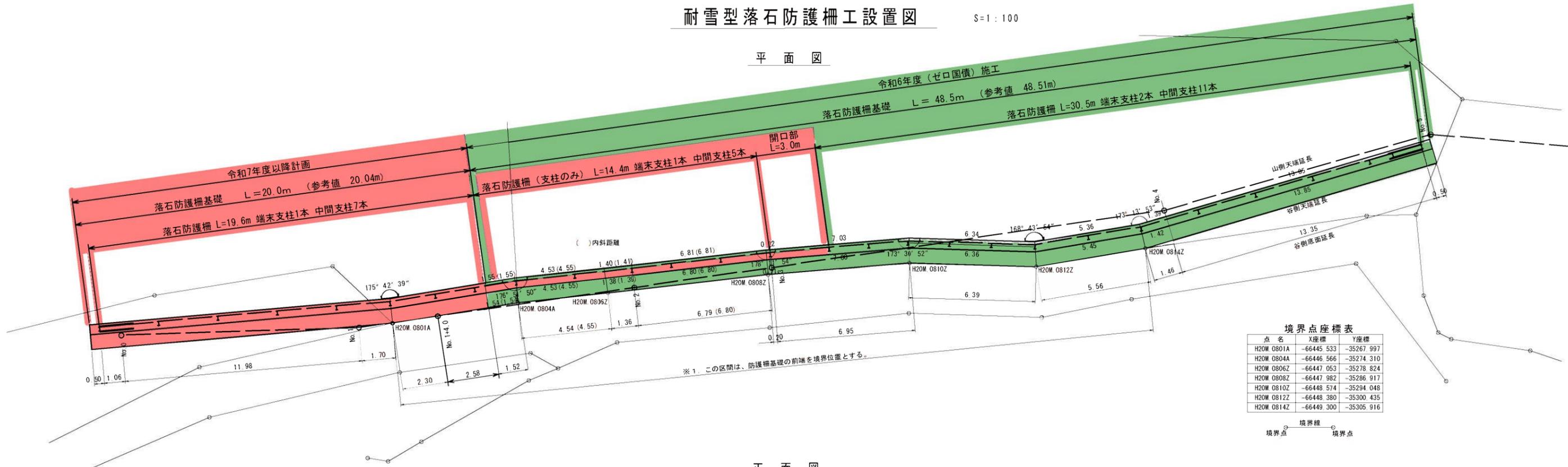
起工		谷地区	
年度	令和7年度 (国補正)		
名称	縦断面図 (4/4)		
施工地	東伯郡三朝町三徳		
事業名	三徳地区復旧治山事業 (5工区) (国補正)		
事業所	鳥取県 中部総合事務所		
図面番号	5	縮尺	1 : 200

※縮尺はA1サイズ印刷時のもの

耐雪型落石防護柵工設置図

S=1:100

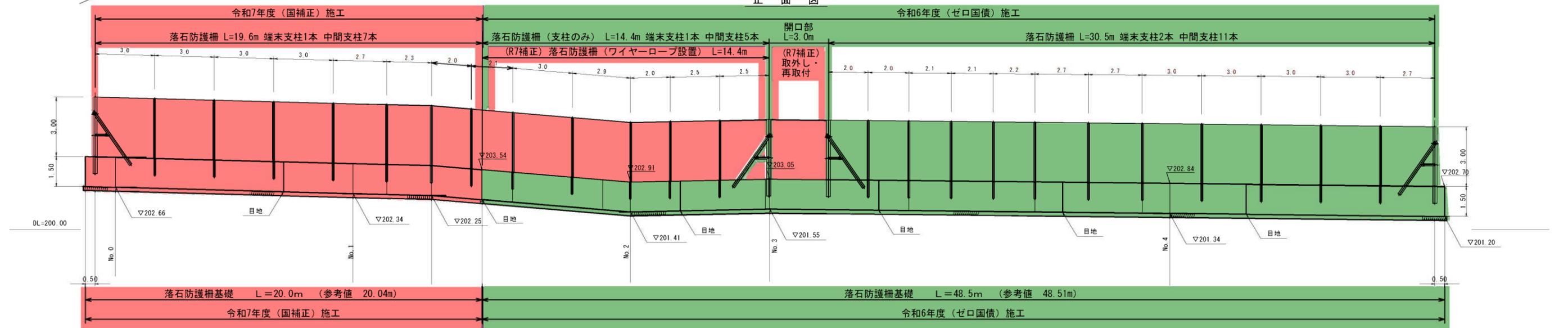
平面図



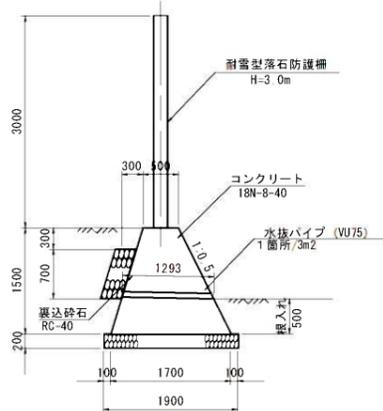
境界点座標表

点名	X座標	Y座標
H20M 0801A	-66445.533	-35267.997
H20M 0804A	-66446.566	-35274.310
H20M 0806Z	-66447.053	-35278.824
H20M 0808Z	-66447.992	-35286.917
H20M 0810Z	-66448.574	-35294.048
H20M 0812Z	-66448.390	-35300.435
H20M 0814Z	-66449.300	-35305.916

正面図



落石防護柵基礎 S=1:50



数量表 10m当り

名称	規格	単位	数量
コンクリート	σck=18N/mm ²	m ³	16.500
型枠	小型	m ²	32.430
基礎砕石	RC-40, t=20cm	m ²	19.000
目地材	t=10mm	m ²	1.650
裏込砕石	RC-40	m ³	2.348
水抜パイプ	VU75	m	4.317.39

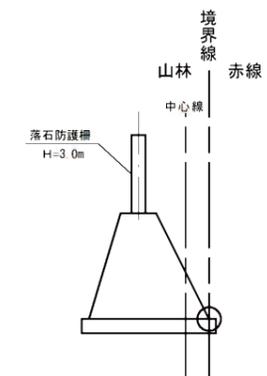
※ 留意事項

- 落石防護柵基礎は、10.0m間隔に目地を設けることを基本とするが、最小目地間隔は9.0mを確保すること。
- 落石防護柵基礎の基礎底面は、平板載過試験等を行い許容支持力以上であるか確認が必要である。ただし、試験方法により安全率（長期）が異なるため注意が必要である。

基礎の最大反力=61.4KN/m² × (安全率) < 基礎地盤の許容支持力
 施工時には、これを確認すると共に、地質、地層等に大きな変化がある場合には、その対策・処理について監督員と協議を行う事。

落石防護柵工数量表 1.0箇所当り

名称	規格	単位	数量
耐雪型落石防護柵	間隔保持材、上弦材有 柵高3.0m ロープ10本	m	64.5
中間支柱	柵高3.0m 間隔3.0m H-200×100×5.5×8	本	23.0
端末支柱	柵高3.0m H-200×200×8×12	本	4.0
開口部	間隔3.0m	箇所	1.0
落石防護柵基礎	H=1.5m	m	68.5



※平面図の※1区間は、上図のとおり防護柵基礎の前端を境界位置とする。境界点座標は上表とする。

起工

年度	令和7年度（国補正）
名称	落石防護柵工詳細図（1/3）
施工地	東伯郡三朝町三徳
事業名	三徳地区復旧治山事業（5工区）（国補正）
事業所	鳥取県 中部総合事務所
図面番号	6 縮尺 図示

※縮尺はA1サイズ印刷時のもの

落石防護柵工詳細図 (2/3)

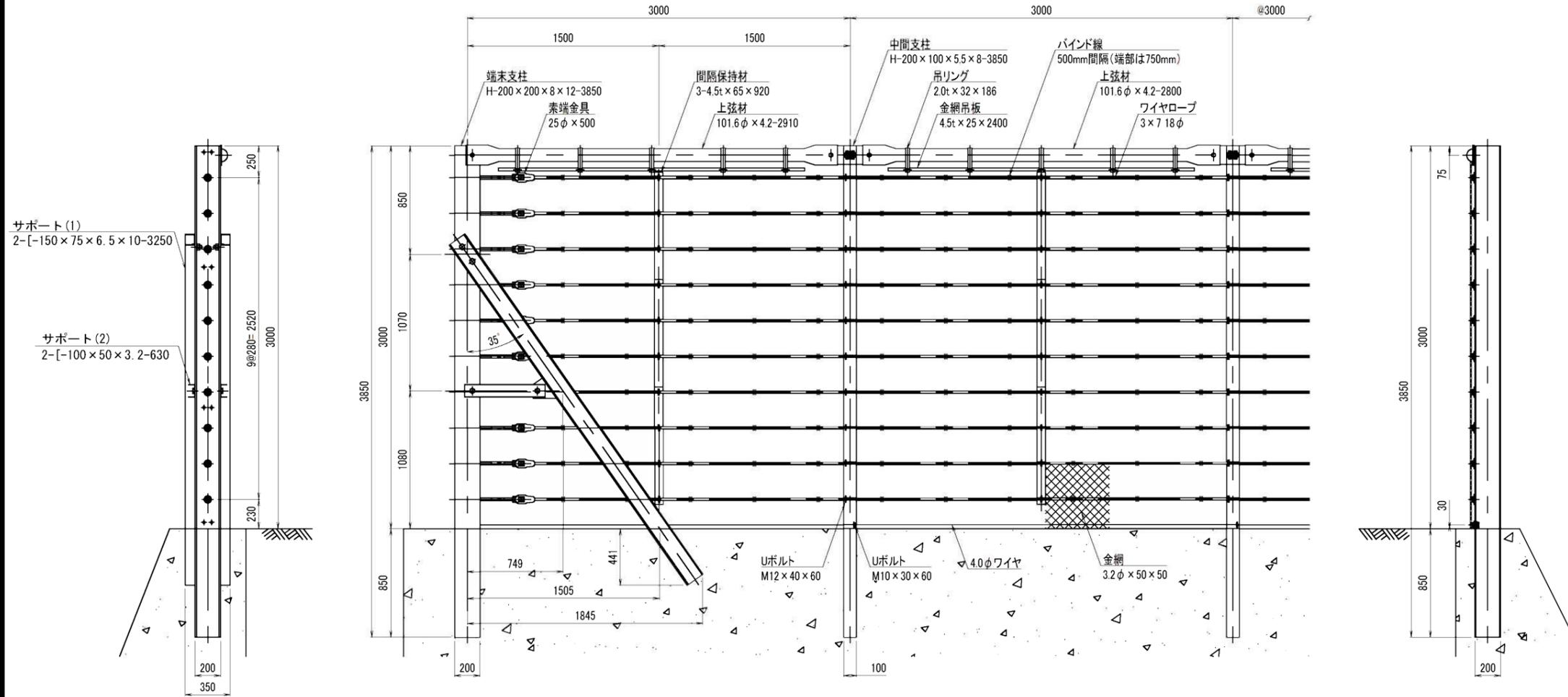
積雪地用落石防護柵標準図 (間隔3.0m)

正面図 S=1/20

(山側視)

端末支柱側面図 S=1/20

中間支柱側面図 S=1/20

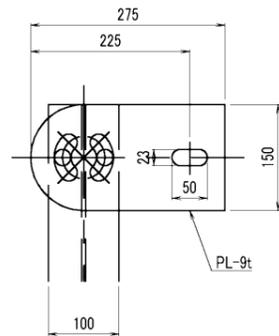


部品明細表

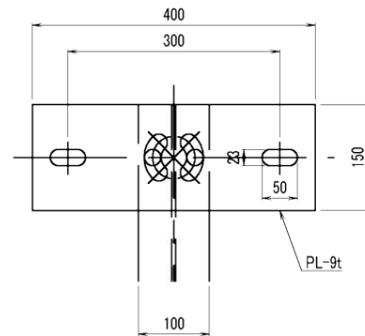
構成	部品名	寸法(mm)	表面処理
ケーブル	ワイヤロープ	3 x 7 18φ	Znめっき
	金網	3.2φ x 50 x 50	Znめっき
	ワイヤ	4.0φ	Znめっき
中間支柱	中間支柱	H-200 x 100 x 5.5 x 8	Znめっき
	上弦材取付プレート	9t x 150 x 400	Znめっき
	ボルト	M20 x 60	Znめっき
	Uボルト	M12 x 40 x 60 M10 x 30 x 60	Znめっき
端末支柱	端末支柱	H-200 x 200 x 8 x 12	Znめっき
	サポート(1)	[-150 x 75 x 6.5 x 10-3250]	Znめっき
	サポート(2)	[-100 x 50 x 3.2-630]	Znめっき
	ボルト	M27 x 60	Znめっき
	ボルト	M24 x 50	Znめっき
	金網止め丸棒	7φ	Znめっき
	角Uボルト	M8 x 60 x 40	Znめっき
上弦材	素端金具	25φ x 500	Znめっき
	上弦材	101.6φ x 4.2t	Znめっき
	ボルト	M20 x 60	Znめっき
	吊リング	2.0t x 32 x 186	Znめっき
保持材	金網吊板	4.5t x 25	Znめっき
	ボルト	M8 x 45	Znめっき
間隔	間隔保持材	4.5t x 65 x 920	Znめっき
	Uボルト	M12 x 40 x 60	Znめっき

※ボルトM27 x 60は強度区分8.8とする

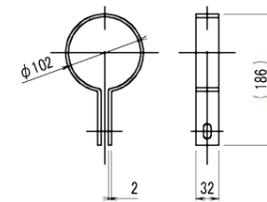
上弦材取付PL詳細図 S=1/5
(中間支柱2方向用)



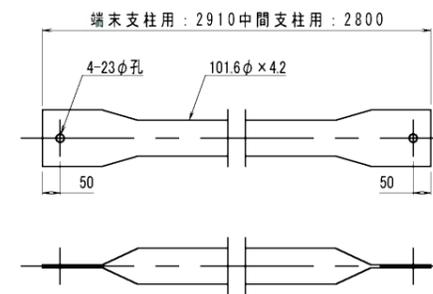
上弦材取付PL詳細図 S=1/5
(中間支柱一定勾配用)



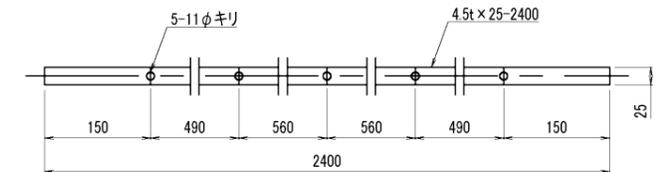
吊リング詳細図 S=1/5



上弦材詳細図 S=1/10



金網吊板詳細図 S=1/5



起工		谷地区
年度	令和7年度(国補正)	
名称	落石防護柵工詳細図(2/3)	
施工地	東伯郡三朝町三徳	
事業名	三徳地区復旧治山事業(5工区)(国補正)	
事業所	鳥取県 中部総合事務所	
図面番号	7	縮尺 図示

※縮尺はA1サイズ印刷時のもの

落石防護柵工詳細図 (3/3)

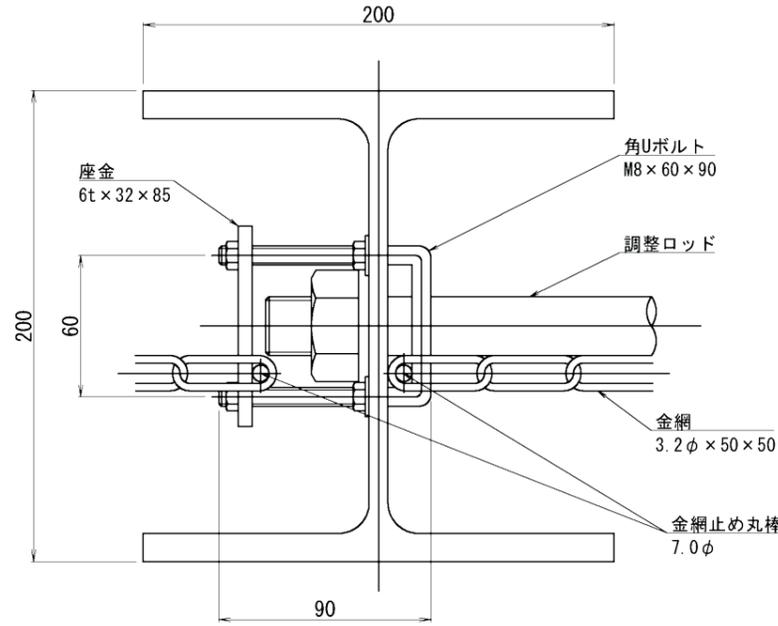
落石防護柵 (開口部)
開口部スパン 3000

端末支柱金網取付部詳細図 S=1/1

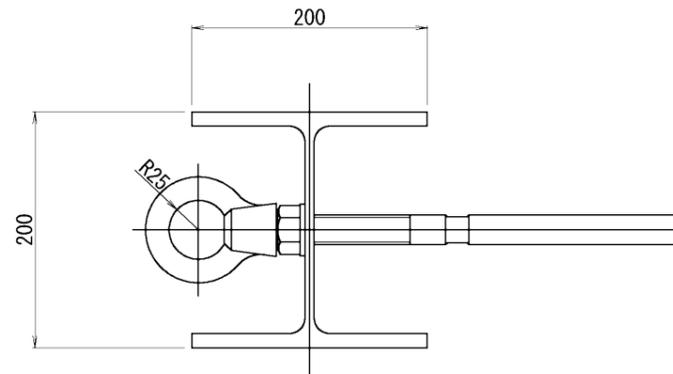
部品明細表

大別	項目	寸法 (mm)	表面処理
ケーブル構成	ワイヤロープ	3×7 18φ	Znめっき
	ターンバックル	25φ ジョーエンド・ネジエンド ウェッジソケット含む	Znめっき
	アイナット	25φ用	Znめっき
	巻付グリップ(E)	18φ用-1350	Znめっき
	金網	3.2φ×50×50	Znめっき
金網取付部	ワイヤ	4.0φ	Znめっき
	金網止め丸棒	7φ	Znめっき
	角Uボルト	M8×60×90	Znめっき
間隔保持材	座金	6t×32×85	Znめっき
	間隔保持材	4.5t×65	Znめっき
上弦材構成	Uボルト	M12×40×60	Znめっき
	上弦材	101.6φ×4.2t	Znめっき
	ボルト	M20×60	Znめっき
	吊リング	2.0t×32×186	Znめっき
金網吊板	金網吊板	4.5t×25	Znめっき
	ボルト	M8×45	Znめっき

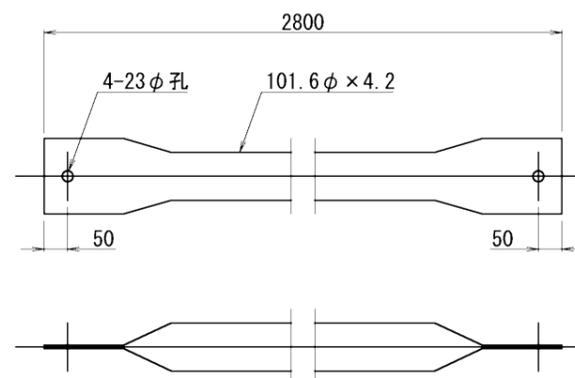
正面図 S=1/20



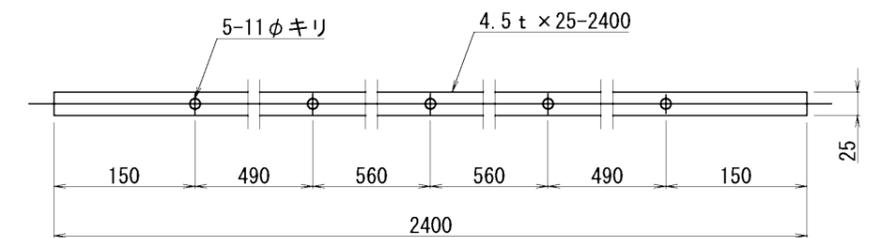
アイナット取付詳細図 S=1/2



上弦材詳細図 S=1/5



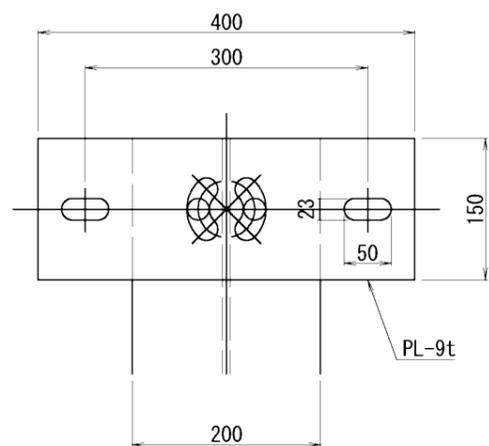
金網吊板詳細図 S=1/2.5



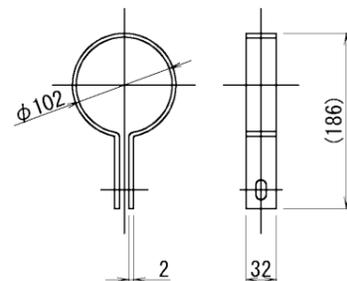
起工		合谷地区	
年度	令和7年度 (国補正)		
名称	落石防護柵工詳細図 (3/3)		
施工地	東伯郡三朝町三徳		
事業名	三徳地区復旧治山事業 (5工区) (国補正)		
事業所	鳥取県 中部総合事務所		
図面番号	8	縮尺	図示

※縮尺はA1サイズ印刷時のもの

上弦材取付PL詳細図 S=1/2.5



吊リング詳細図 S=1/2.5



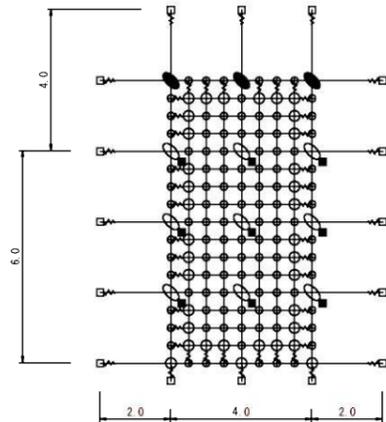
ロープ伏工詳細図 (1/3)

4号ロープ伏工展開図 S=1/60

A=48.0 m²

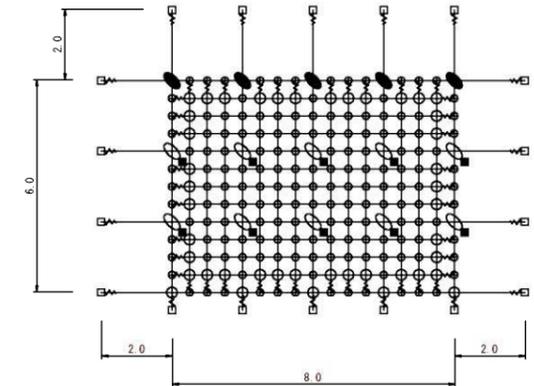
3号ロープ伏工展開図 S=1/60

A=32.0 m²



材料明細表

ロープネット工 (2×2-0.5×12型)						
名称	仕様・寸法 (mm)	数量	単位	割増	記号	
主ロープ	縦	3×7 6/0 12φ	Znめっき 42.0	m	40.0×1.05	—
	横	3×7 6/0 12φ	Znめっき 50.4	m	48.0×1.05	—
補強ロープ	縦	3×7 6/0 12φ	Znめっき 75.6	m	72.0×1.05	—
	横	3×7 6/0 12φ	Znめっき 75.6	m	72.0×1.05	—
巻付グリッ (E型)	12φ用-800	Znめっき 55	本		⊖	
巻付グリッ (R型)	12φ用-975	Znめっき 5	本		⊕	
岩部用TSKセメントアンカー-A	D22(M20)×1000	Znめっき 13	本		□	
岩部用TSKセメントアンカー-B	D22(M20)×1000	Znめっき 7	本		■	
土砂部用クロスウィングアンカー-25A	114.3φ×4.5t-1630 4PL-4.5t×200×400	Znめっき 5	本		○	
土砂部用クロスウィングアンカー-25B	114.3φ×4.5t-1630 4PL-4.5t×200×400	Znめっき 3	本		●	
十字グリッ	12φ用 50×95	Znめっき 5	個		⊗	
十字アンカーグリッ	12φ用 50×95	Znめっき 10	個		⊙	
Vクリッ	(大) 4.0t×109 (小) 3.2t×92	Znめっき 43 163	個		⊕ ⊖	



材料明細表

材料明細表

ロープネット工 (2×2-0.5×12型)						
名称	仕様・寸法 (mm)	数量	単位	割増	記号	
主ロープ	縦	3×7 6/0 12φ	Znめっき 31.5	m	30.0×1.05	—
	横	3×7 6/0 12φ	Znめっき 42.0	m	40.0×1.05	—
補強ロープ	縦	3×7 6/0 12φ	Znめっき 50.4	m	48.0×1.05	—
	横	3×7 6/0 12φ	Znめっき 50.4	m	48.0×1.05	—
巻付グリッ (E型)	12φ用-800	Znめっき 47	本		⊖	
巻付グリッ (R型)	12φ用-975	Znめっき 5	本		⊕	
岩部用TSKセメントアンカー-A	D22(M20)×1000	Znめっき 11	本		□	
岩部用TSKセメントアンカー-B	D22(M20)×1000	Znめっき 6	本		■	
土砂部用クロスウィングアンカー-25A	114.3φ×4.5t-1630 4PL-4.5t×200×400	Znめっき 5	本		○	
土砂部用クロスウィングアンカー-25B	114.3φ×4.5t-1630 4PL-4.5t×200×400	Znめっき 3	本		●	
十字グリッ	12φ用 50×95	Znめっき 3	個		⊗	
十字アンカーグリッ	12φ用 50×95	Znめっき 9	個		⊙	
Vクリッ	(大) 4.0t×109 (小) 3.2t×92	Znめっき 35 106	個		⊕ ⊖	

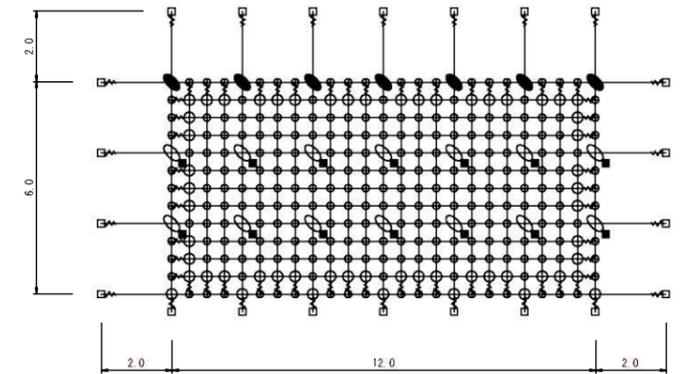
材料明細表

材料明細表

ロープネット工 (2×2-0.5×12型)						
名称	仕様・寸法 (mm)	数量	単位	割増	記号	
主ロープ	縦	3×7 6/0 12φ	Znめっき 58.8	m	56.0×1.05	—
	横	3×7 6/0 12φ	Znめっき 67.2	m	64.0×1.05	—
補強ロープ	縦	3×7 6/0 12φ	Znめっき 113.4	m	108.0×1.05	—
	横	3×7 6/0 12φ	Znめっき 113.4	m	108.0×1.05	—
巻付グリッ (E型)	12φ用-800	Znめっき 69	本		⊖	
巻付グリッ (R型)	12φ用-975	Znめっき 7	本		⊕	
岩部用TSKセメントアンカー-A	D22(M20)×1000	Znめっき 15	本		□	
岩部用TSKセメントアンカー-B	D22(M20)×1000	Znめっき 10	本		■	
土砂部用クロスウィングアンカー-25A	114.3φ×4.5t-1630 4PL-4.5t×200×400	Znめっき 7	本		○	
土砂部用クロスウィングアンカー-25B	114.3φ×4.5t-1630 4PL-4.5t×200×400	Znめっき 4	本		●	
十字グリッ	12φ用 50×95	Znめっき 7	個		⊗	
十字アンカーグリッ	12φ用 50×95	Znめっき 14	個		⊙	
Vクリッ	(大) 4.0t×109 (小) 3.2t×92	Znめっき 57 247	個		⊕ ⊖	

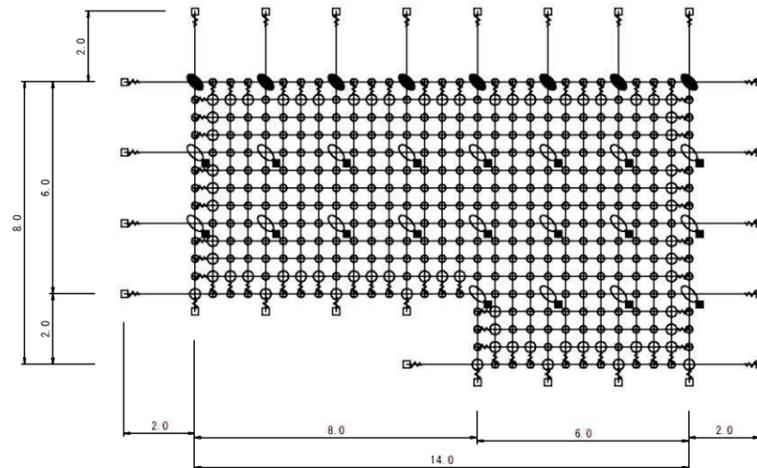
2号ロープ伏工展開図 S=1/60

A=72.0 m²



1号ロープ伏工展開図 S=1/60

A=96.0 m²



材料明細表

材料明細表

ロープネット工 (2×2-0.5×12型)						
名称	仕様・寸法 (mm)	数量	単位	割増	記号	
主ロープ	縦	3×7 6/0 12φ	Znめっき 75.6	m	72.0×1.05	—
	横	3×7 6/0 12φ	Znめっき 86.1	m	82.0×1.05	—
補強ロープ	縦	3×7 6/0 12φ	Znめっき 151.2	m	144.0×1.05	—
	横	3×7 6/0 12φ	Znめっき 151.2	m	144.0×1.05	—
巻付グリッ (E型)	12φ用-800	Znめっき 84	本		⊖	
巻付グリッ (R型)	12φ用-975	Znめっき 8	本		⊕	
岩部用TSKセメントアンカー-A	D22(M20)×1000	Znめっき 18	本		□	
岩部用TSKセメントアンカー-B	D22(M20)×1000	Znめっき 14	本		■	
土砂部用クロスウィングアンカー-25A	114.3φ×4.5t-1630 4PL-4.5t×200×400	Znめっき 8	本		○	
土砂部用クロスウィングアンカー-25B	114.3φ×4.5t-1630 4PL-4.5t×200×400	Znめっき 6	本		●	
十字グリッ	12φ用 50×95	Znめっき 8	個		⊗	
十字アンカーグリッ	12φ用 50×95	Znめっき 20	個		⊙	
Vクリッ	(大) 4.0t×109 (小) 3.2t×92	Znめっき 69 332	個		⊕ ⊖	

※ 下記割合にて数量算出
アンカー(A, B共)
岩部用(1000)-70%
土砂部用 -30%
図中はすべて岩部用(1000)にて表記

※ 施工時の斜面整理後に、施工範囲・アンカー種類等について
実施測量を行い決定すること。

※ (区跡、名勝) 区域であり、極力、樹木の伐採は控えること。

起工		谷倉地区
年度	令和7年度(国補正)	
名称	ロープ伏工詳細図(1/3)	
施工地	東伯郡三朝町三徳地内	
事業名	三徳地区復旧治山事業(5工区)(国補正)	
事業所	鳥取県 中部総合事務所	
図面番号	9	縮尺 1:200

ロープ伏工詳細図 (2/3)

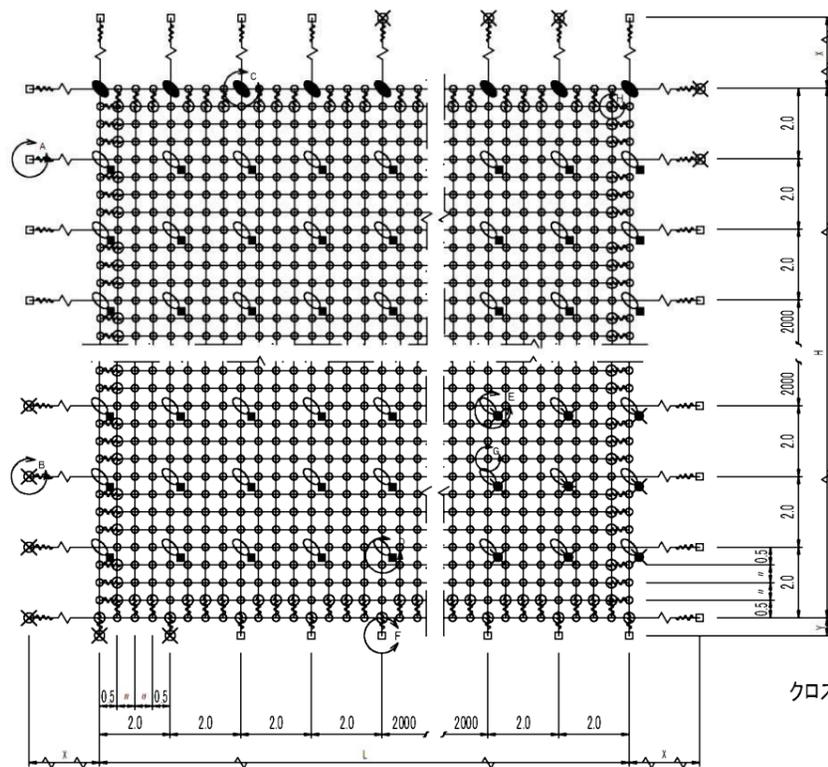
ロープ伏工

参考図

(2×2-0.5×12型)

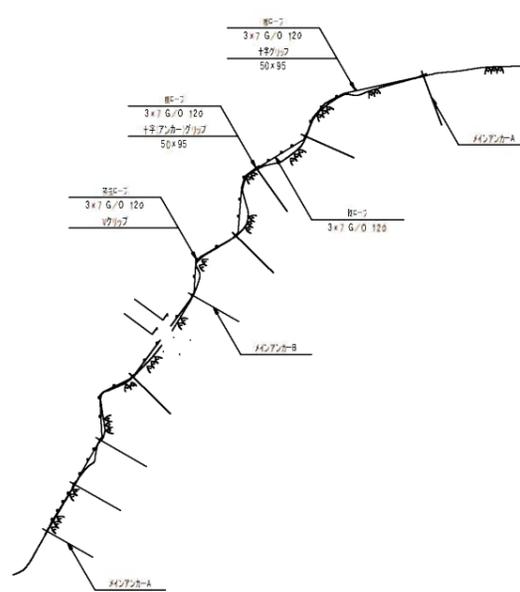
標準構造展開図

S=1/100



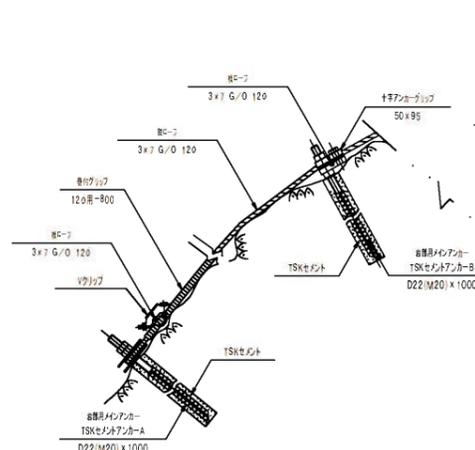
横断面

S=1/100



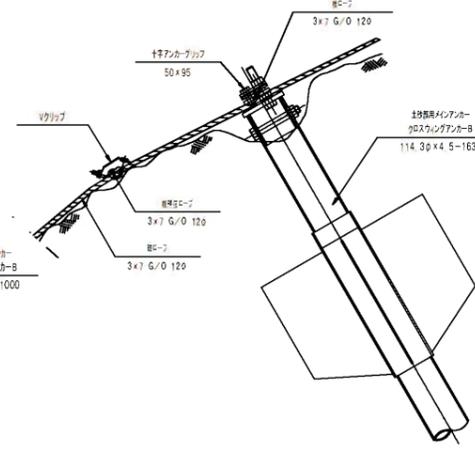
D・F部詳細図

S=1/10



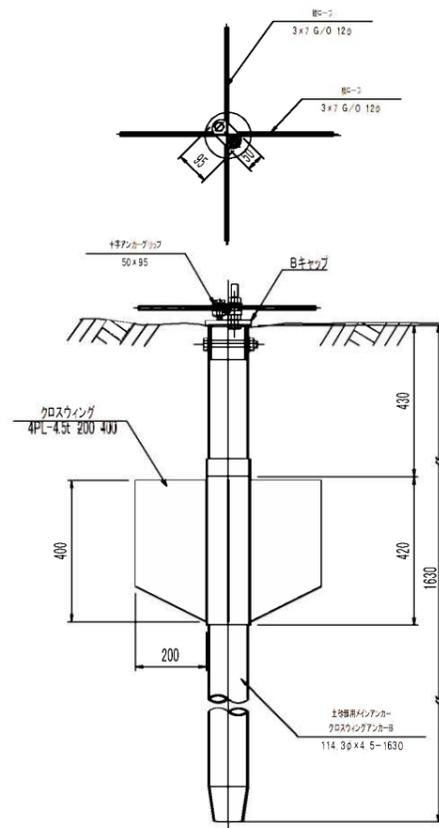
E・G部詳細図

S=1/10



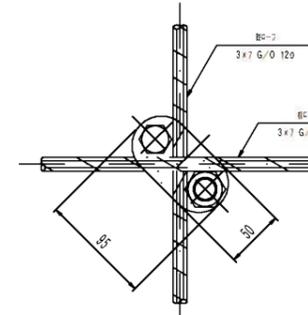
クロスウイングアンカー詳細図

S=1/10 (E部)



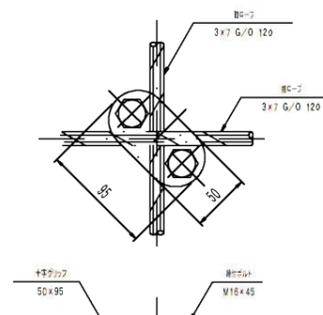
十字アンカーグリップ

S=1/3 (D部)



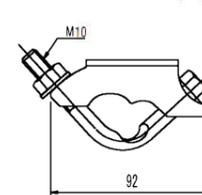
十字グリップ

S=1/3 (C部)



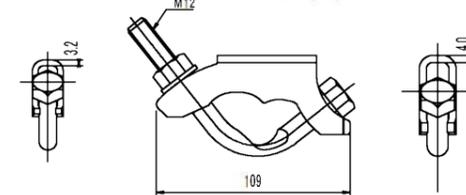
Vクリップ(小)

S=1/2 (G部)



Vクリップ(大)

S=1/2 (H部)



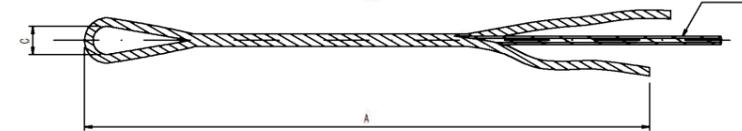
部品明細表

名称	仕様・寸法 (mm)	図号
主縦・横ロープ 補強(縦・横)ロープ	3×7 G/O 12φ	
巻替用 TSKセメントアンカー-A	D22(M20)×1000	□
巻替用 TSKセメントアンカー-B	D22(M20)×1000	■
土物巻用 クロスウイングアンカー-25A	114 3φ×4.5-1630 4PL-4 5t×200×400	⊗
土物巻用 クロスウイングアンカー-25B	114 3φ×4.5-1630 4PL-4 5t×200×400	⊗
巻付グリップ(E型)	12φ用-800	〰
巻付グリップ(R型)	12φ用-975	〰
パイプ用 Vクリップ	(大) 4.0t×109 (小) 3.2t×92	◇
十字アンカーグリップ	12φ用 50×95	◇
十字グリップ	12φ用 50×95	◇

※ 表記なき部材は全て垂鉛めっき仕様とする。

巻付グリップ

S=1/5



寸法表

図号	寸法	呼称寸法	A	C
巻付グリップ(E型(TSKセメントアンカー-A))	12φ用	12φ用-800	800	40
巻付グリップ(R型(クロスウイングアンカー-25A))	12φ用	12φ用-975	975	120
巻付グリップ(E型(補強ロープ))	12φ用	12φ用-800	800	40

注1: 十字グリップ及び
十字アンカーグリップの締結力
締結力=24kN
(ワイヤロープの許容荷重以上)

注2: 十字グリップ及び
十字アンカーグリップの適用箇所
十字グリップ: 最上段横ロープ・縦主ロープ交差点
十字アンカーグリップ: B/A/A部

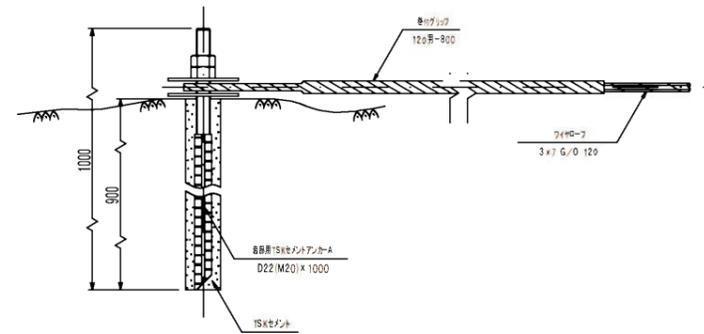
起工

合谷地区

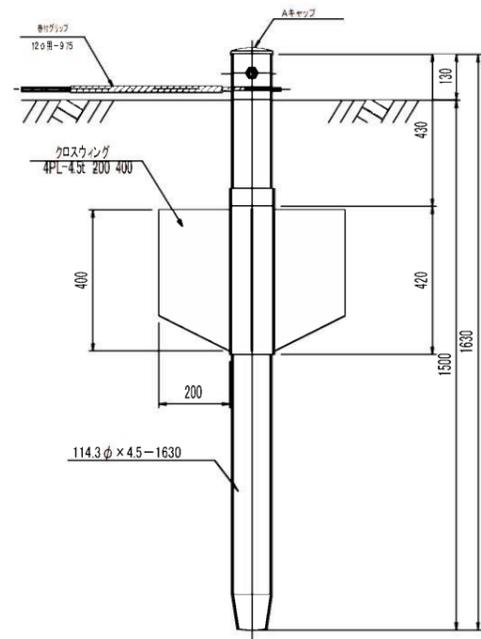
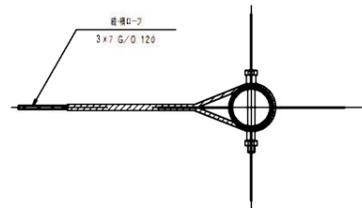
年度	令和7年度(国補正)		
名称	ロープ伏工詳細図(2/3)		
施工地	東伯郡三朝町三徳地内		
事業名	三徳地区復旧治山事業(5工区)(国補正)		
事業所	鳥取県 中部総合事務所		
図面番号	10	縮尺	図示

ロープ伏工詳細図 (3/3)

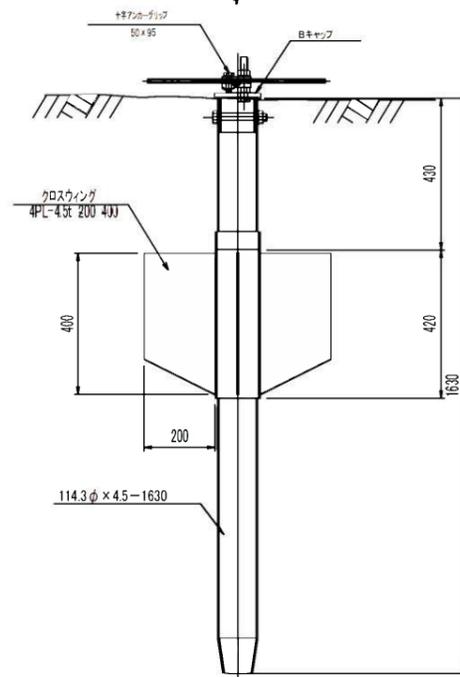
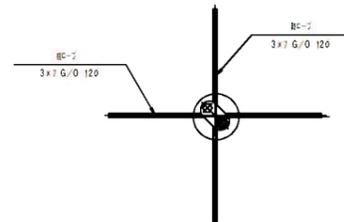
岩部用TSKセメントアンカー-A
S=1/5 (A部)



土砂部用
クロスウイングアンカー-25A
S=1/10 (B部)



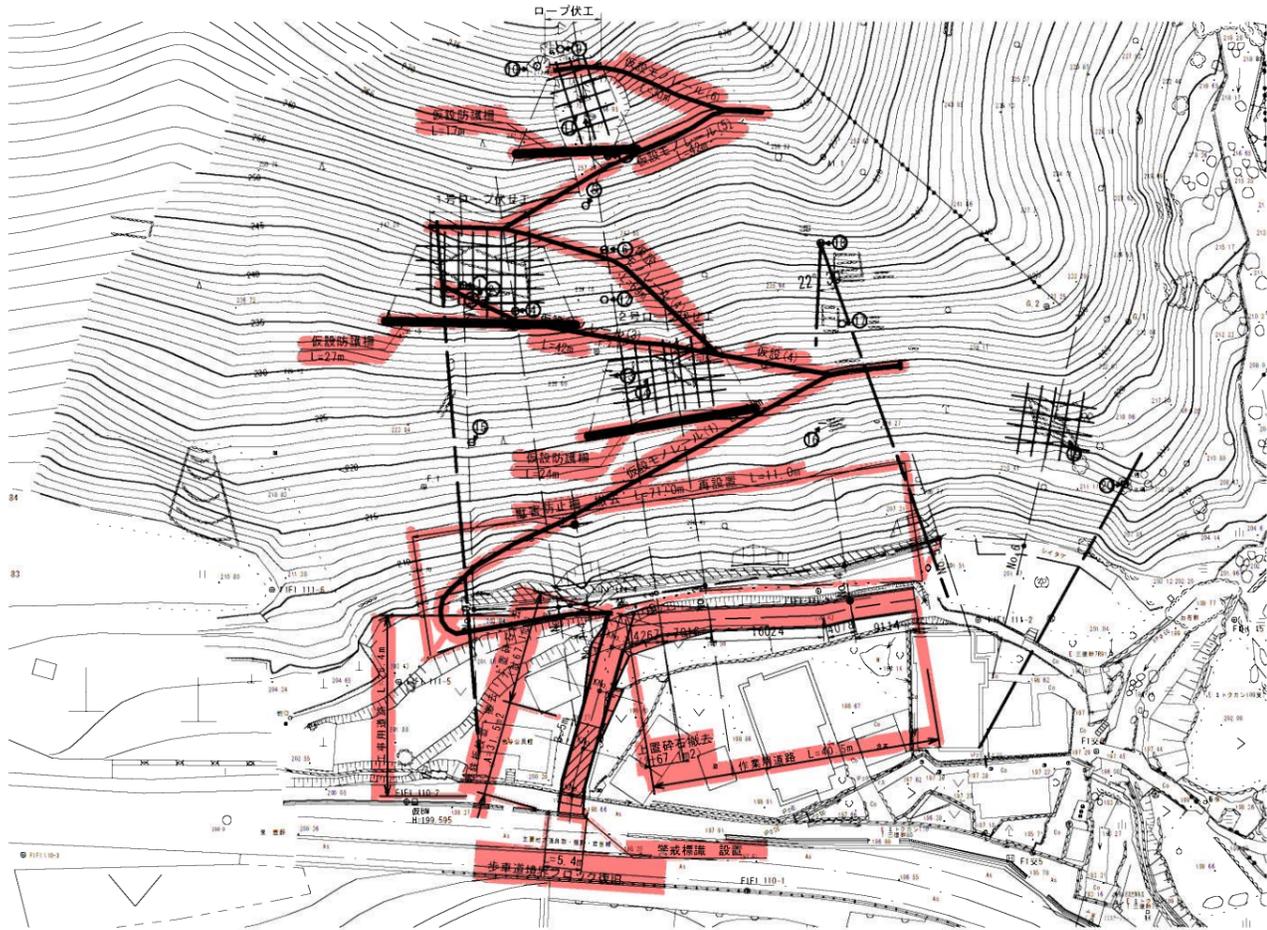
土砂部用
クロスウイングアンカー-25B
S=1/10 (E部)



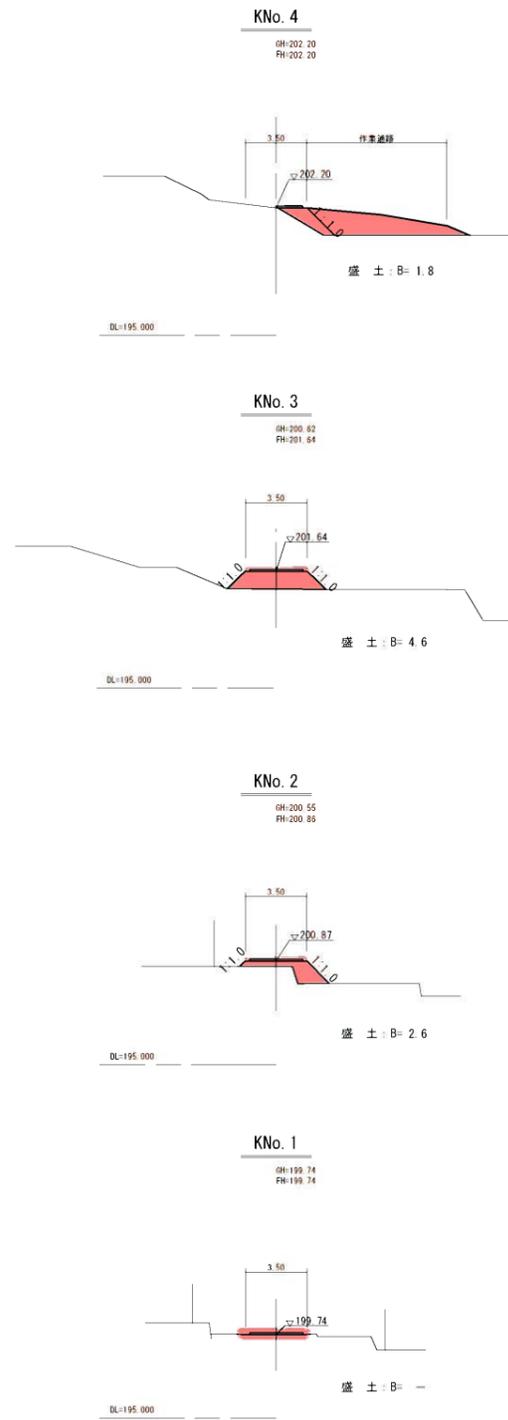
※ 表記なき部材は全て垂鉛めっき仕様とする。

起工		谷地区	
年度	令和7年度(国補正)		
名称	ロープ伏工詳細図(3/3)		
施工地	東伯郡三朝町三徳地内		
事業名	三徳地区復旧治山事業(5工区)(国補正)		
事業所	鳥取県 中部総合事務所		
図面番号	1.1	縮尺	1:200

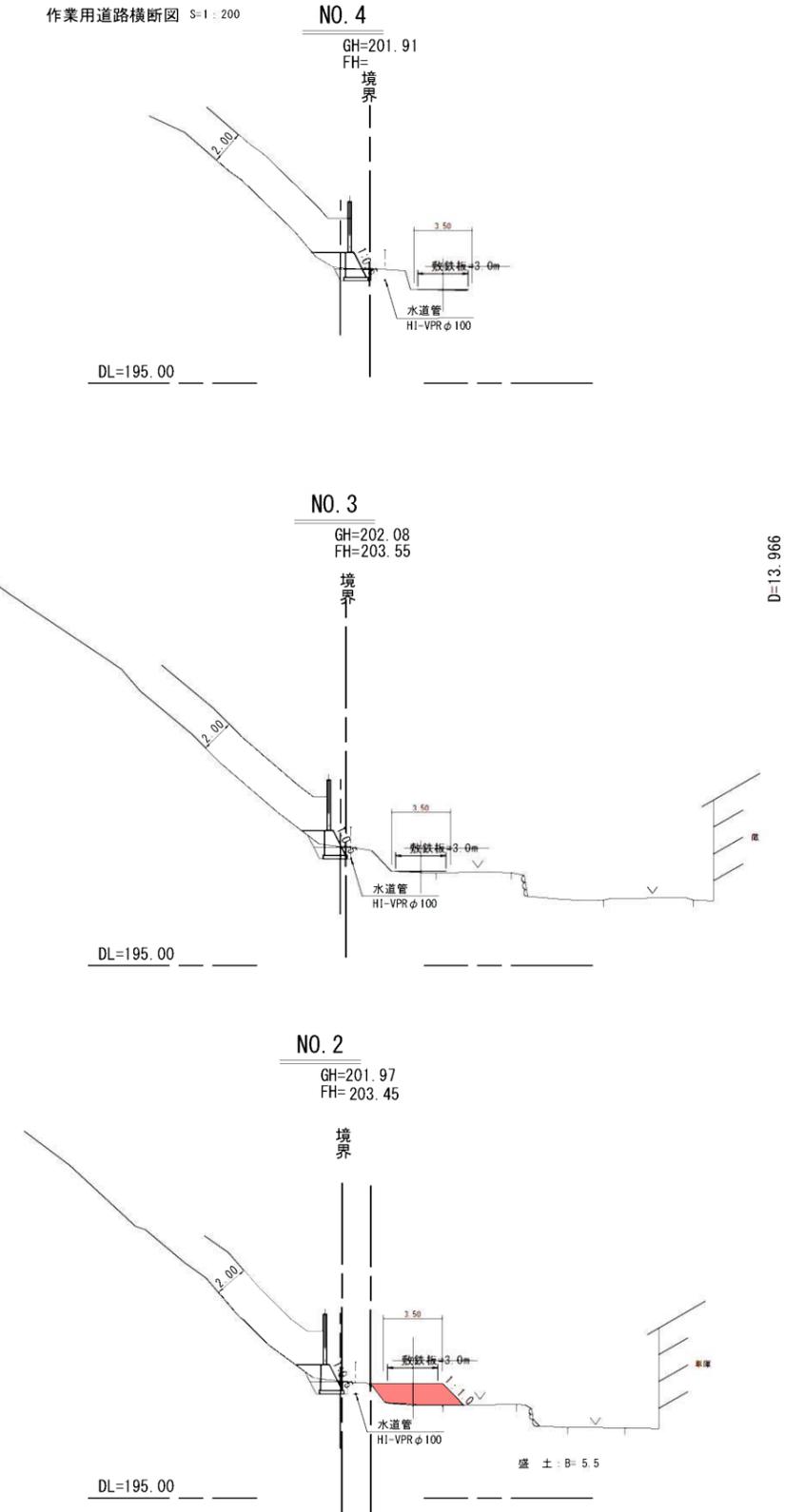
平面図 S=1:500



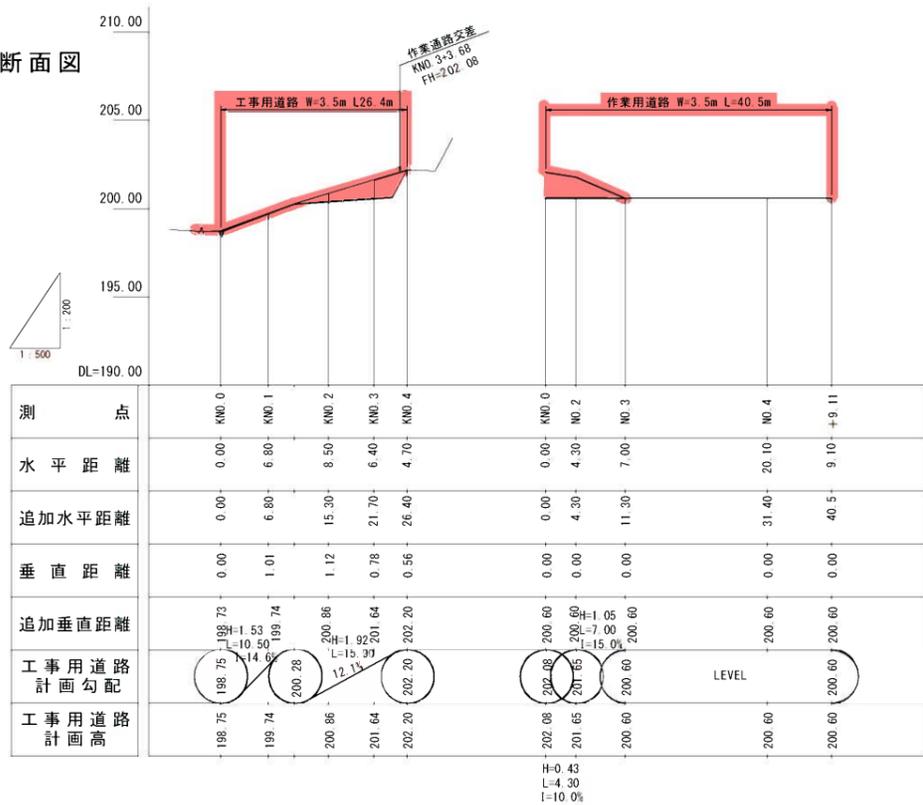
工事用道路横断面図 S=1:200



作業用道路横断面図 S=1:200

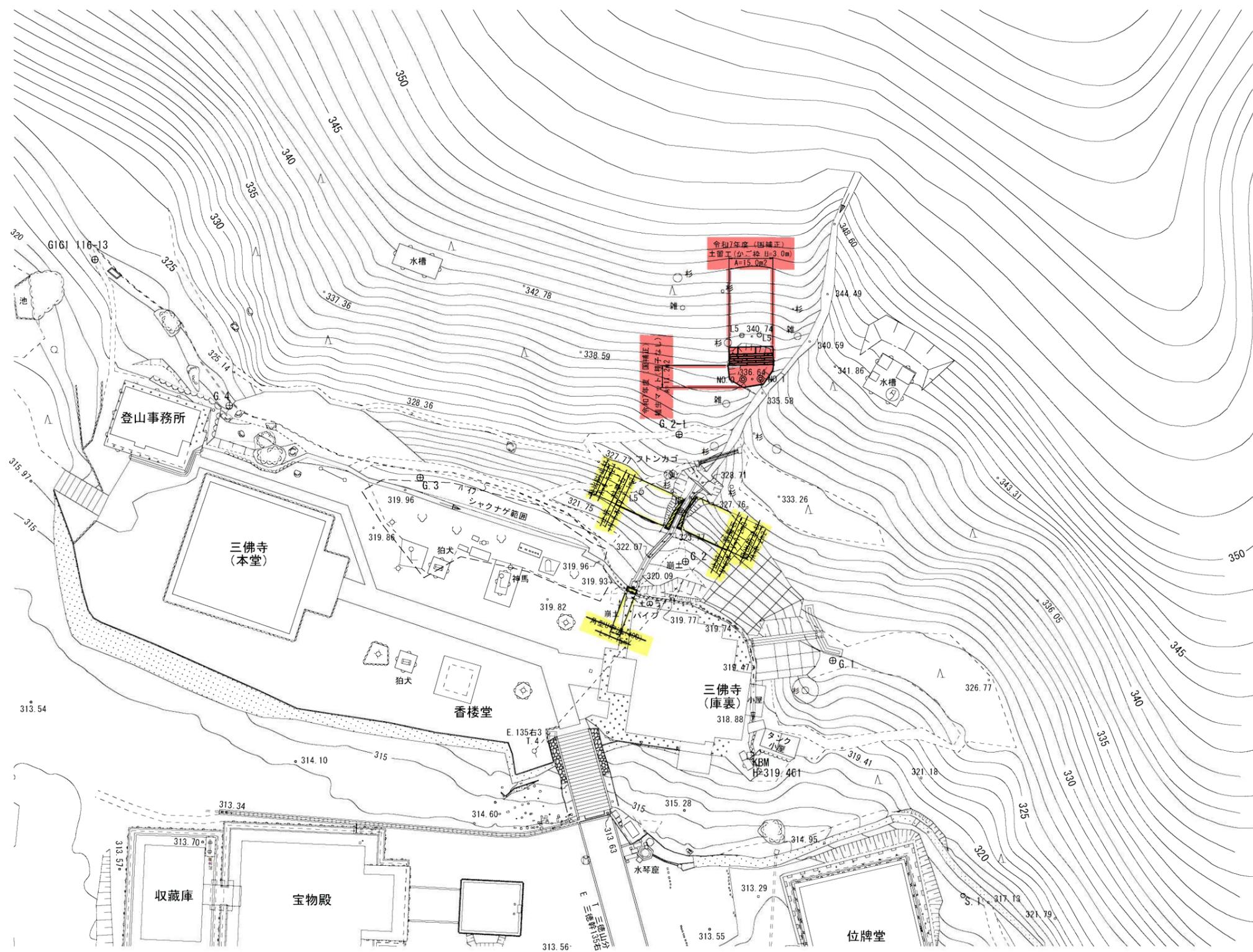


縦断面図



起工		谷谷地区
年度	令和7年度(国補正)	
名称	仮設工計画図(合谷地区)	
施工地	東伯郡三朝町三徳	
事業名	三徳地区復旧治山事業(5工区)(国補正)	
事業所	鳥取県 中部総合事務所	
図面番号	1 2	縮尺 図示

※縮尺はA1サイズ印刷時のもの



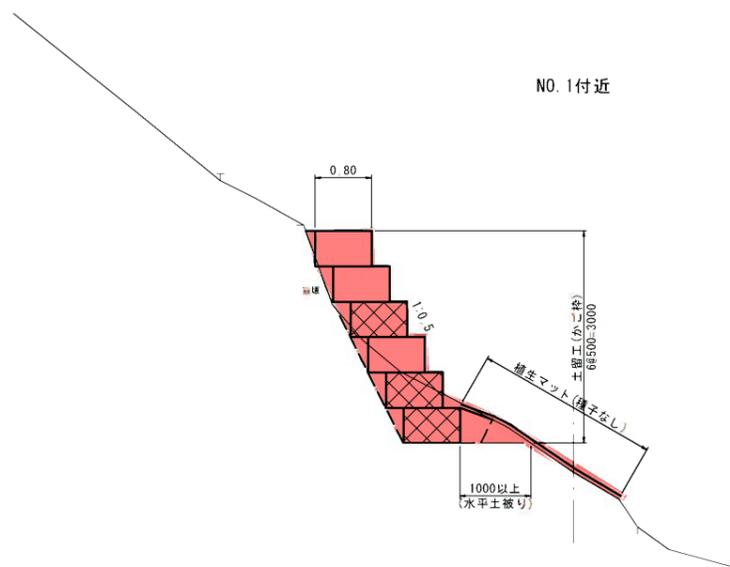
【注意事項】

1. シャクナゲ(三朝町指定天然記念物)は伐採禁止のため、シャクナゲ植栽範囲を確認の上、施工前に関係者と協議をすること。
2. 当該地は、大山隠岐国立公園内であるため生態系維持の観点から、場外からの土砂搬入や、種子付きの植生資材の使用は避けること。
3. 三徳山関係者と、施工時期についての調整が必要である。

※縮尺はA1サイズ印刷時のもの

起工		
年度	令和7年度(国補正)	
名称	平面図(三徳山)	
施工地	東伯郡三朝町三徳	
事業名	三徳地区復旧治山事業(5工区)(国補正)	
事業所	鳥取県中部総合事務所県土整備局	
図面番号	13	縮尺 1:250

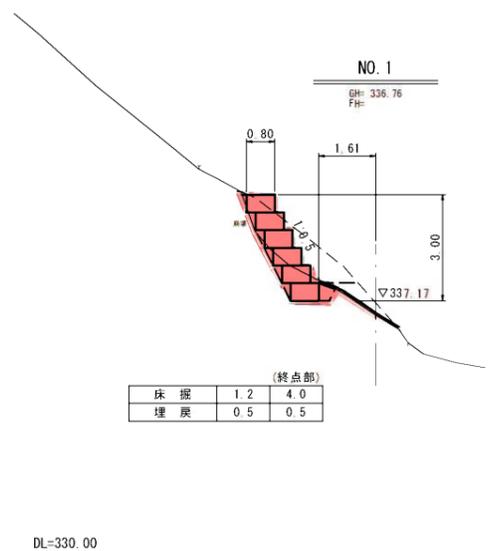
標準断面図 S=1:50



【注意事項】

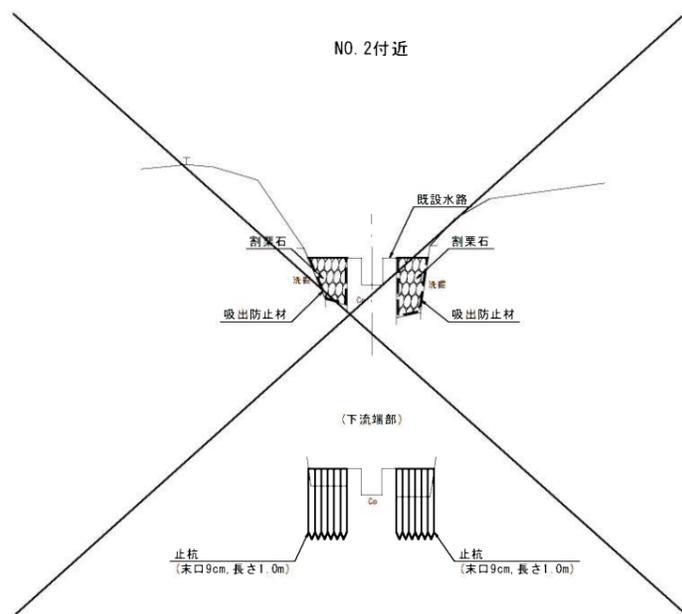
1. 植生マットは、当該地が大山隠岐国立公園内であるため生態系維持の観点から、「種子なし」とする。なお、一般的な製品を想定している。

山腹縦断面図 S=1:100

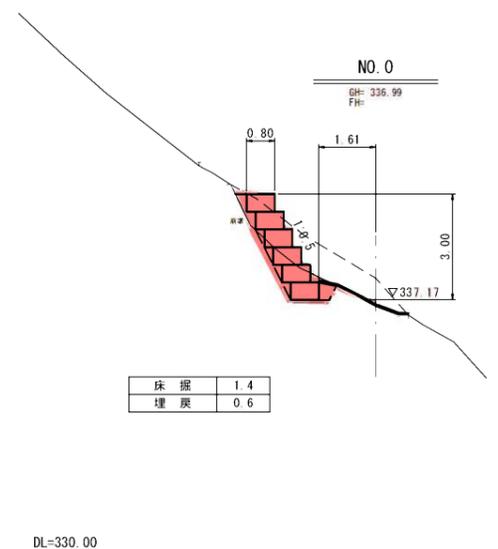


DL=330.00

NO. 2付近

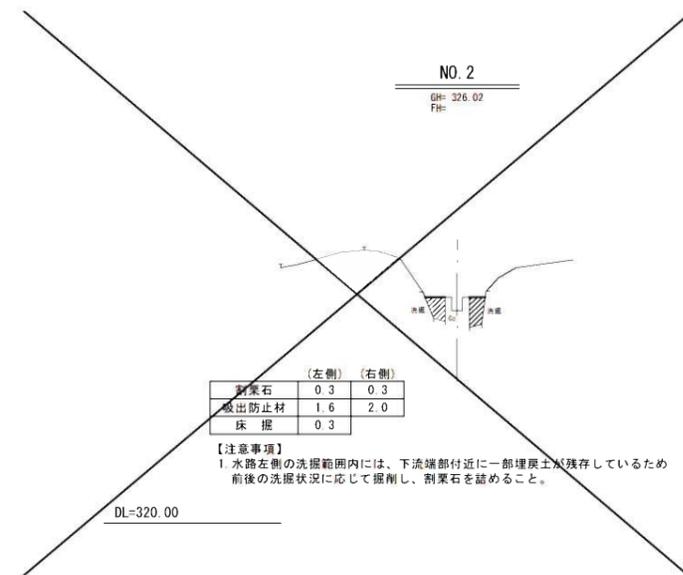


NO. 0



DL=330.00

NO. 2



DL=320.00

起工

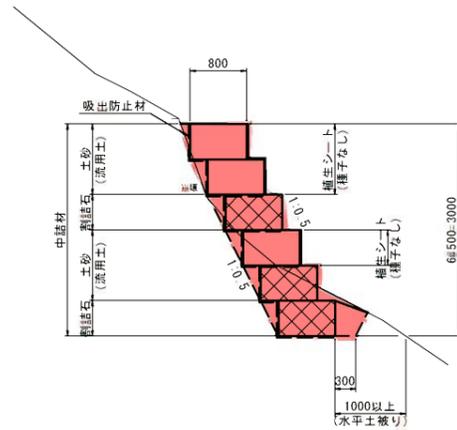
年度	令和7年度(国補正)
名称	標準断面図 山腹縦断面図(三徳山地区)
施工地	東伯郡三朝町三徳
事業名	三徳地区復旧治山事業(5工区)(国補正)
事業所	鳥取県中部総合事務所県土整備局
図面番号	14
縮尺	図示

※縮尺はA1サイズ印刷時のもの

土工(かご枠)

断面図

S=1:50



壁高	H=3.0m
積み勾配	1:0.5
中詰材単位体積重量	$\gamma_k=18.0 \text{ KN/m}^3$
裏込土単位体積重量	$\gamma=18.0 \text{ KN/m}^3$
裏込土内部摩擦角	$\phi=30^\circ$
基礎地盤摩擦係数	$f=0.5$
許容地耐力	$q_{max}=69.65 \text{ KN/m}^2$

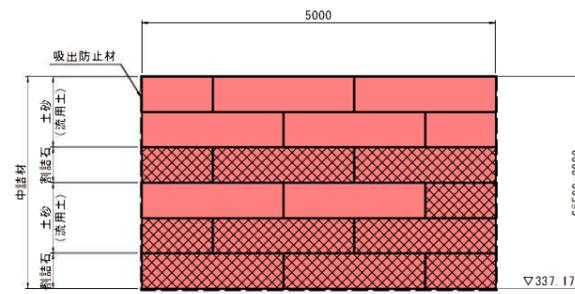
種別	規格	単位	数量
かご枠	奥行き0.8m	m ²	15.0
端部枠	800用	枚	12.0
割詰石	150~200mm程度	m ³	6.4
中詰土砂	現地発生土	m ³	5.6
植生シート	種子なし	m ²	7.0
吸出防止材	t=10mm	m ²	38.3

【注意事項】

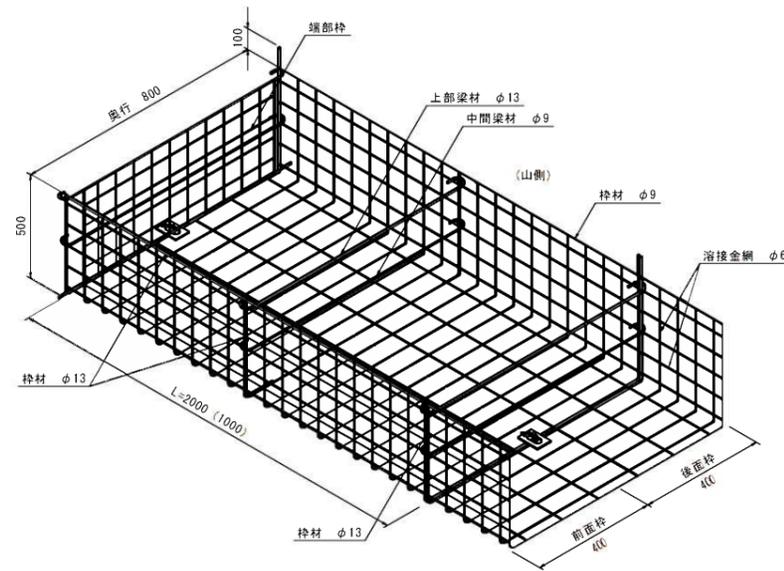
- 中詰材に現地発生材を使用する限り、設計条件に変更はない。
- 床掘作業後にキヤスボル試験等により基礎地盤許容地耐力の確認が必要である。
地盤反力度 $q_{max}=69.65 \text{ KN/m}^2$
- 植生シートは、当該地が大山隠岐国立公園内であるため生態系維持の観点から、「種子なし」とする。

正面図

S=1:50

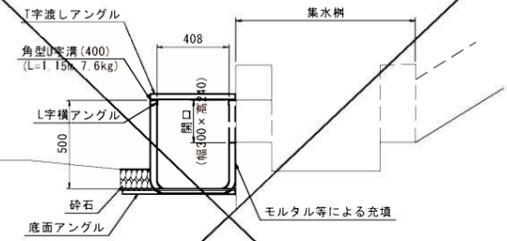


(標準図)



角型U字溝 (400)

S=1:20



種別	規格	単位	数量
角型U字溝	400	本	1.0
モルタル		m ³	0.001
砕石	RC-40	m ³	0.02

【注意事項】

- 角型U字溝は設置した際に、集水側開口部と角型U字溝開口部が合うよう事前に開口を設けておく必要がある。
- 集水側と角型U字溝との隙間は、モルタル等により充填すること。
- 底面アングルにはブロック等を載せ浮力対策を行うが、底面アングルは土水路幅に合わせカットする必要がある。

起工

年度	令和7年度(国補正)
名称	構造図(三徳山地区)
施工地	東伯郡三朝町三徳
事業名	三徳地区復旧治山事業(5工区)(国補正)
事業所	鳥取県中部総合事務所県土整備局
図面番号	15
縮尺	図示

※縮尺はA1サイズ印刷時のもの

